

# 市議会だより



「これも借りようかなあ」

読みたい本がいっぱいあるね

— 中央図書館で —



テレビ朝日本社で抗議する代表者

TV朝日の「やらせ事件」

## 議会で厳重な抗議と

### 謝罪を要求!!

最近、連日のように各新聞紙上等で報道されているTV朝日の市内中学生を巻き込んだいわゆる「やらせ事件」に対し、多くの市民の皆さんから怒りの声がわき起こっておりますが、この事件について議会は去る十月十四日に開催した全員協議会で、議会としてとるべき態度について協議しました。

冒頭に教育委員会側より事件の経過報告があり、各議員より

- (1) 未成年者の犯罪をそのかし、しかも理由もなく当市の女子中学生に故意にリンチを加え、あたかもそれが当市における女子中学生の真実の一部であるかのように虚報したTV局の態度は許せない。
- (2) この事件が直接的な原因とは断定できないが、このTV放映後被害者女子中学生の母親の一人が自殺している事実についても、作られた偽りの放映によって市民に与えた重大な影響の一つとして、看過することはできない。
- (3) リンチ場面のあと放映されたスタジオ内におけるインタビューには、ことさらに画面に「福生」の字幕を出し、被害者女子中学生に心なき質問を浴びせ、前途ある子女の将来を傷つけ、当市のイメージを著しく損なった責任は重大である。

このような意見が相次ぎ、協議の結果、全会一致でTV朝日に対し厳重な抗議と謝罪を要求することになりました。

この決定に基づき議会は翌十五日、議長及び総務委員長、同副委員長がTV朝日に出向き、制作責任者の奈良井取締役らに別項の抗議文を手交し、厳しくその責任を追求しました。

# 抗 議 書

去る八月二十日、貴局の「アフタヌーンショー」で放映された「激写！中学女番長！！セックスリンチ全告白」の番組は、その後、各新聞報道等にみられるように大きな社会問題へと発展し、とりわけ画面中に見られる「福生」の字幕は、当市民を驚かせたが、その後の報道を見る限りにおいては、いわゆる「やらせ事件」の疑いもあって、多くの善良な子弟の進学、就職等の前途を傷つけ、福生市のイメージを著しく傷つけたものとして、市民の大きな憤激と怒りをかい、われわれ議会としても看過できない事態となっております。真実を伝えるべき報道の自由については、われわれも十分理解をもつものであります。今回の事件については、貴局の放送倫理そのものにも重大な疑いを持つと共に、その軽卒なる放映に極めて遺憾な意を表せざるを得ません。

各報道等によって「福生事件」として傷つけられた当市民の怒りの声を代表し、われわれは当市議会の名において、貴局の猛省を促すと共に、ここに作られた疑いのある無責任なるこの番組の放映に対し厳重に抗議し、来る十月二十八日までに責任のある謝罪を要求するものである。

昭和六十年十月十五日

福生市議会

全国朝日放送株式会社

代表取締役

田代喜久雄殿

# 静かな高台に市営住宅

## 第三市営住宅を建て替え

### 3階建てを2棟

工事費は二億二千余万円

福生第三市営住宅建築工事の契約案が、定例会最終日に全員異議なく同意されました。

福生市には、五カ所の市営住宅がありますが、どの住宅も終戦直後に建てられた住宅で、老朽化も著しいため、限られた敷地内で現代にマッチした、快適で安心して住める住宅に市では年次計画により建て替えを進めております。

その第一期工事として、昭和五十五年福生九二一番地の第二市営住宅を建て替えし、第二期工事として今回武蔵野台二丁目十三番地に建築しようとするもので、構造はPCコンクリート造、三階建、十二戸のものを二棟建築し、工事費は約二億一千八百万円、完成は六十一年三月の予定です。

間取りは六畳二間、四畳半と

七畳半ほどのダイニングキッチンと、トイレ、浴室となっております。面積は七十一・〇三平方メートルとなっております。

本会議では、六月定例会において第一期工事の第二市営住宅が、天井や壁に結露が原因でカビが発生した件について指摘がありました。今回これを改善するために、断熱材の多用や強制換気等をし、カビの発生を防ぐ工夫をしたいとの説明があり、これを了承しました。

この第三市営住宅は、高台にあって、地理的条件にも恵まれているので、入居者の方の快適な生活ができるものと期待されています。

### 審議日程

9月	
5日	本会議
6日	本会議
9日	建設委員会
10日	総務委員会
11日	厚生委員会
17日	議会運営委員会
19日	本会議
	横田基地対策特別委員会

## 第三回 定例会

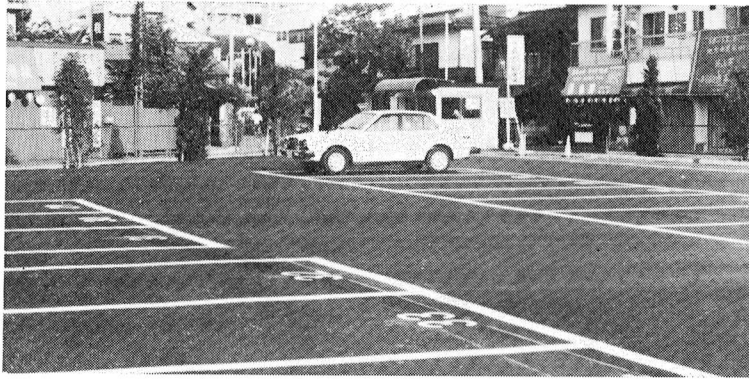
厳しい残暑が続いている九月五日より、第三回定例会が開催されました。

この定例会には、各種福祉手当条例の一部改正や、昭和五十九年度の各会計の決算認定などが提案されました。

○第一日目 さきに通告のあった六人の議員より、福祉対策や区画整理事業、基地問題などについて一般質問がなされ、市長の考え方を聞きました。

○第二日目 議案の審議に入り各種条例の一部改正や、補正予算が提案され、それぞれ説明を受けた後、担当委員会へ付託されました。

○第三日目 休会中に各委員会で審議した結果の報告が各委員長よりなされ、それぞれ原案のとおり可決され、昭和五十九年度の各会計の決算認定は、継続審査となりました。また、福生市教育委員会委員と福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について提案され、全会一致で同意されました。



新設された  
公営福生駅西口駐車場

## 福生駅周辺の 地下駐車場の可能性は

インベルトを住民の避難場所として確保し、その附带工事として地下駐車場ができた。当市にはそうした公共空地も周辺になく、東口広場を地下駐車場とした場合、グリ

質問 昨年福生駅周辺の公営による地下駐車場設置についてお尋ねしたが、その後の動きについてお聞きしたい。

市長 将来計画として地下駐車場を防衛施設局側に要望してきている。千歳市の場合、グリ



の基金を設置したかどうか。教育次長 国や都では、国際青年年の趣旨に沿った記念事業を行い、各種施策の充実に努めている。市でも青少年協だよりに青年年の意義等をPRし、青年団体が主体となって外国人との交流や記念講演会等の事業が計画されており、中央の各種イベント参加についても周知している。姉妹都市や友好都市として交流している市が多いが、民間の篤志家の寄附を交流基金として

合、出入口の位置、面積的な効果等の期待も薄く、因果関係の立証に難点がある。法的な補助対象となっていないので、この拡大に努力をすると同時に、現実面で市街地における路上駐車場の緩和等交通環境の抜本的な対策が重要と思うので、暫定的な面を含め公営駐車場の設置について検討していきたい。市宮野球場等の駐車場も急務と思うが、補助対象の枠拡大に努力する以外にないと思うので、御理解願いたい。

### = 国際青年年 =

#### 記念事業などの計画は

質問 今年 は、国際青年年にあたり各地で記念事業が行われているが、当市ではどのような事業が計画されているのか。また、次代を担う青少年に海外生活体験の機会を与えるための

質問 以前にも横田基地への民間機乗り入れについて質問があり、二十一世紀の交通機関として地域航空は関心が高まっている。まずは横田基地の中にヘリポートを設置するよう運動したかどうか。市長 三月定例会で同趣旨の質問を受けたが、国内の米軍、自衛隊の飛行場に民間機が乗り入れしているのは六飛行場あるが、乗り入れるには整備場所や格納庫等も必要となり、非公的に基地側に話したところ、他の

民間へリポートの設置を

#### 横田基地に

行っているところもあり、今後研究していきたい。

# 一般質問



第3回定例会では  
6人の議員が一般  
質問を行いました

飛行場に比べ横田基地は一番過密、狭いという厳しい表現であった。乗り入れにあたって、まず共同使用の了解が得られるか、採算性や環境上の問題等があるため、米軍側との折衝や広域的な取り組みについて調査研究をしていきたい。

### ひんがしエンジンテスト

#### 夜間はやめて

**質問** 連日のように米軍機が市街地上空を飛び、家族の会話もできない状況が続いている。先日起きた日航機墜落事故のような事態が起きれば大惨事となる。市民生活の安全を脅かす市街地上空の飛行はやめるよう国や基地に申し入れるべきである。また、エンジンテストの騒音もすさまじく、特に夜間のテストは断固中止するよう要求すべきだと思いが考えを伺いたい。

**市長** 基地に対する基本的な考え方として、条約や地位協定により設置運用されており、一自治体の行動ができる範囲には

限度がある。しかし、市民生活に影響する場合は、行政の範囲内で積極的な行動を行う考えである。

安全飛行についても常に申し入れており、基地側も安全飛行や事故防止に最大限注意をしているとのことである。

騒音問題もできる限り配慮しており、戦闘機の場合の消音施設は可能だが、横田基地は輸送基地であり、遮音壁はあるが消音施設はないということである。

### 台風避難の軍用機

#### 基地との連絡体制は

**質問** 八月初旬に沖縄の嘉手納基地よりF15が十二機横田基地に飛来したが、これらは台風避難のためと思われるが、こうした場合必ず沖繩に常駐する飛行機が横田基地に来ることになっているのか、市として米軍や防衛側との話し合いや連絡、報告がきているのか。また、最近市は市内上空飛行が非常に多く以前の説明では人口密集地は避け

て飛行コースが決まっていることであったが、この矛盾点について伺いたい。さらに六月から八月の離着陸数について聞きたい。

**市長** 八月中の台風のために嘉手納基地からF15やKC135等が飛来したもので態様の変化ではない。

今回の台風避難について基地側と話し合っていないが、今後話し合ってみようと思う。

一時飛来であってもタッチアンドゴー等密集した市内上空の飛行はしないよう基地に再三要請しているところであり、今後も行いたい。

**市民部長** 六月から八月の離着陸数だが、六月の飛行総数は千七百七十三回、前年より百九十五回の減、七月が千三百九十一回、前年より四十三回の増、八月が千二百九十三回、前年より百五十回の減となっている。

議会を  
傍聴しましょう  
次の定例会は  
12月です

=百年の歴史 熊川分水=

## 自然環境保護と 保存の考えは



昔はこの水で洗い物もできました

**質問** 玉川上水より取水し熊川地区の中心を流れる延長約二千メートルの熊川分水は、約百年の歴史があり、生活用水として地域住民の大きな役割を果たしてきた。

しかし、当時の原型をとどめている所は少なく、遺溝として、自然環境保護と合わせ保全すべきだと思いがどうか。また、課税状況について聞きたい。

**市長** 当市には分水や湧水の水路があり、生活や農業用水として利用されてきたが、玉川上水の役割低下による減水等外的要因や時代の変化からその役目が終わったことは事実である。

しかし、市街化が進むほど緑や水が必要となるので、関係者の御理解を得て保全していきたいと思う。問題は民有地もあり、市が管理するとなると行政とかかわりが必要となるので、いろいろな角度から研究してみた。

**企画財政部長 熊川分水の課**  
 関係は、税法上の非課税規定があり、分筆部分については非課税となっているが、ほとんど分筆されていないため課税対象となっている。

**建設部長 分水の関係者から**  
 玉川上水が長期間漏水するため分水の維持ができないことが要因であるとの話があり、都の水道局に照会したところ、常時流すことは可能であり、水路として保つうえて関係者と文書を取り交わして措置したいとのことであった。

**深井戸を掘って流す方法もあったが、地盤沈下の要因となり許可できないとのことである。また、関係者より水の問題や文化財指定等について都に申し入れたとのことであった。**

**教育次長 行政とのかかわり**  
 として文化財の指定があるが、個人の所有地として権利者が多数おり、原型が損われている所もある。指定すると現状変更の規制等あり、管理、修理などについても所有者負担である。

**部分指定より全線指定が望ましいが、指定は文化財保護審議会で決定するわけであり、難しい問題も含まれていると思う。**

## 急速に進む高齢化社会

### 今後の対応策は

**質問** 急速かつ確実に高齢化が進む中で、各分野においていろいろな施策が講じられているが、現在実施されている健康診査の状況、ゲートボール場の増設、高齢者事業団への取り組みについてお聞きしたい。

また高齢化社会に伴い寝たき

り老人対策として一時介護や短期入所できる総合福祉センター建設の考えはどうか。

**市長** 老人保健法による六十歳以上の健康診査も年々受診率がアップしつつある。

今後、地域単位で行っている健康診査も医師会の協力を得

て、早期発見早期治療に努力したい。

**高齢者事業団**も順調に伸び、加入率も都で一位である。

市としても老人の方々の技能や経験を生かせる就業の場の提供はもちろん、運営等について援助していきたい。

**総合福祉センター**についてもさらに調査研究をしていきたいと思う。

**福祉部長** 健康診査の結果

は、四十歳以上の一般診査では五十九年度の受診率が五・三％で、前年度より二・九％アップ、六十五歳以上が約五百人で前年度より百三十一人増えた。

全体の精密検査の結果は、異常なし九十五人、要観察の五十五人、要指導十九人、要治療七十一人となっている。

老人の健康増進のためのゲートボール場については、地域の配置等を考慮し、老人クラブとも相談して民有地の活用を考えたい。

### 不安なひとり暮らし

#### 老人一〇番の設置を

**質問** 寿命が伸びることは結構なことだが、反面医療費の増大等で老人も不安をつのらせている。特にひとり暮らしの老人対策は、地域社会と行政が一体となって取り組まなければならない問題である。

でも行っている緊急時のベントラント式通報システムや老人の生の声を聞くための老人一〇番の設置について聞きたい。

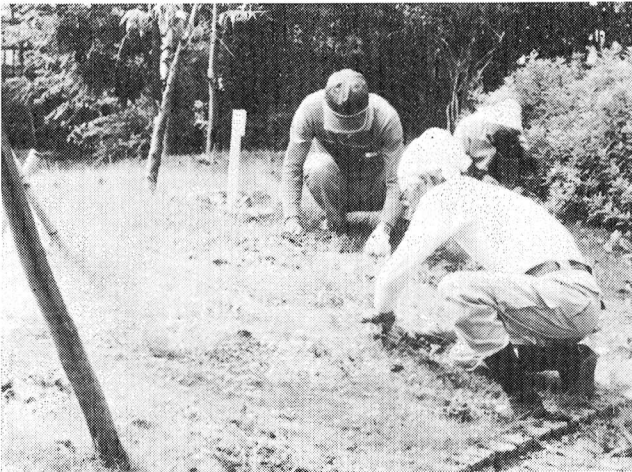
また、現在の福祉会館では、老人のニーズに応えることは無理であるので、早急に総合福祉センターを建設すべきと思うがどうか。

**市長** 都ではひとり暮らしの老人家庭四十三世帯にモデル事業として緊急通報無線機を設置したが、この制度は二十四時間体制のため、地域の協力員確保や警察署や消防署の協力も必要とのことである。

広域行政圏で対応することも考えられるが、今後の都や他市の動向をみて検討したい。

老人一〇番も老人の悩み、相談内容が複雑多様化し、社会福祉全般にわたるので、相談員の養成が必要と思う。今後都や社会福祉協議会と相談し検討していきたい。

昭和四十五年にできた現在の福祉会館は、増築等は不可能であるが、福祉活動の拠点としての総合福祉センターも必要と思うので、調査研究し対応を考えたいと思う。



仕事に精出す 高齢者事業団の方たち

### 老人医療費の増高

#### 市で肩代わりの考えは

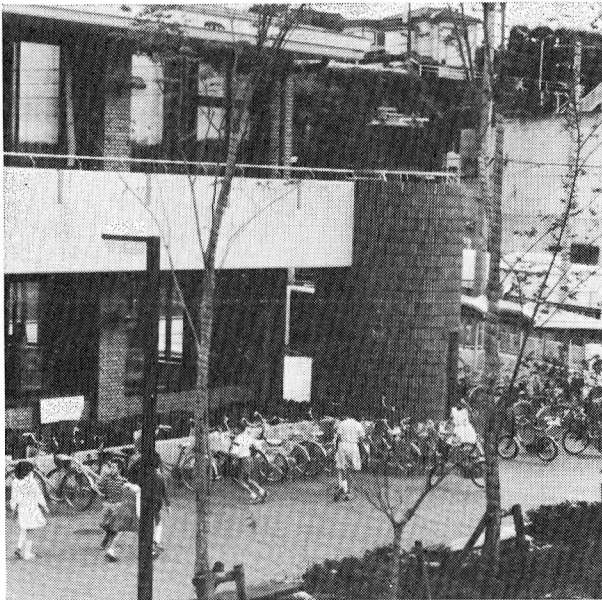
**市長** 国では現行保健制度の患者負担を大幅に引き上げる案を発表したが、昭和五十八年には老人医療費が有料となり、そのうえ大幅引き上げで簡単に病院にはかかれず、老人やその家庭に大きな負担となっている。長年社会に貢献した老人が安心して病院に行き、早期治療ができるよう医療費を市で肩代わりする考えがあるか。

**市長** 厚生省の発表した案は今後老人保健審査会で検討され、その答申によって国会で審議される予定である。

今までも老人医療の問題を含め全国市長会を通じて改善要望をしてきた経緯がある。

まだ、結論が出たわけではないので、今後の動きを見守ってきたい。

**福祉部長** 他市の一例として入院日数によってランクを設け見舞金の形で補助しているところがある。医療費増額は経済的には負担増となるが、即、生活保護費の増額となるかは不明である。



児童館併設の田園会館

## 好評な田園会館 福生・熊川地区への 児童館建設は

**質問** 南田園地区に児童館機能をを持った地域会館がオープンし、子供や父母に好評である。子供の健やかな成長、発達のために最低

福生、熊川両地区にも児童館が必要だと思いが、そういう考えがあるか聞きたい。

**市長** 開館以来日も浅く、今後の運営方法等を研究し、実践活動の中から基本的方針を定めたいと考えており、今後の研究課題としたい。

**福祉部長** 地域会館との関係も考慮し、基本計画に沿って進めていきたい。

田園会館の児童館機能がいかにかどうか見極めてから検討したいと思うので、他地域にいつ頃建設するか時期は不明である。

### 第3回例会を傍聴された市民の方々

- |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 島原 | 一郎 | 岡田 | シヨ | 平林 | 隆三 |
| 藤原 | 治男 | 森細 | チヨ | 清水 | 浅雄 |
| 牧野 | 治静 | 谷本 | 梅子 | 東浦 | 春浪 |
| 森田 | 徳子 | 柳谷 | 幸久 | 山崎 | 繁三 |
| 片岡 | 陽子 | 青関 | 久洋 | 田辺 | 恒久 |
| 杉浦 | 里津 | 佐々 | 子光 | 加瀬 | 道雄 |
| 斉藤 | 幸  | 木田 | 順光 |    |    |
| 鈴木 |    | 横  | 寿  |    |    |
- (敬称略)

### 盛大な桜まつり

#### 警護態勢などの対応は

**質問** 観光資源の乏しい当市にとって多摩川堤の桜まつりが年々盛大に行われ、期間中の観光客も多く、関係者の御苦労等忘れてはならないと思う。開催期間中の警護態勢やPR等の今後の対応をお聞きしたい。

**市長** 当市にとって貴重な観光資源であるので、今後大きく育てていきたい。現在実行委員会方式で行われ、地元の方の自主的な活動を損わない範囲で援助していきたい。また、市独自の観光協会設立について検討したいと思う。

## 議会日誌

7月	8月
4日	1日
八高線・八王子高麗川間復線電化促進協議会 監査	議会運営委員会
9日	5日
三多摩上下水及び道路建設促進協議会正副委員長会議	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会
10日	7日
西多摩衛生組合議会	第三回臨時会
11日	9日
大多摩観光連盟監査	議会運営委員会
12日	12日
全国市議会議長会基地協議会役員会	狭山火葬場組合議会
18日	16日
市議会だより編集会議	福生市都市計画審議会
23日	12日
大多摩観光連盟総会	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合プロジェクト会議
24日	16日
福生伝染病院組合議会	東京都市取益事業組合 議会役員会
27日	16日
多摩川上流流域下水道事業対策協議会	東京都市議会議長会総会
30日	
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第二委員会正副委員長会議	
31日	



市民部長 堤防の桜の管理は、五月頃より害虫駆除や剪定等している。桜まつりの期間中実行委員会が自主的に警備や警護をし、警察署や消防署も特別警戒をお願いしており、今後も万全をつくしていきたい。PRも広報はもとより三百枚のポスターを近隣市町村に配布し、新聞やラジオでも宣伝した。今年仮設トイレを一カ所増設したが、場所もないので実行委員会と検討したい。流し踊りも悪天候のため中止となったが、予備日等について協議したい。露店商は直接実行委員会はかわかっていないが、警察の許可も必要であり、道路や公団等への出店は困難と思う。今後催し物等について実行委員会と相談していきたい。

ごみの出し方を

周知徹底すべきだ

質問 生活水準向上に伴いごみも多種多様だが、当市は毎日収集されており喜ばしいことである。市内に千三百五十カ所ある収集場所も道路や民有地にある、はみ出したりして周辺住民

からも苦情が出ているが、ごみの正しい出し方や分別等について周知すべきだと思うがどうか。

市長 当市は毎日収集し、環境美化に努めているが、地域の協力を得て収集場所の確保や美化に努めていきたい。

市民部長 広報や清掃日より等でPRしているが、看板も古

危ない熊川駅西側の踏切  
安全対策の現況はどうか

質問 五日市線熊川駅の西側踏切は、道路部分には歩道があるものの、踏切部分は狭くなっていて歩道も無く危険である。将来計画は立体化になる予定だが、現況について聞きたい。

市長 通行上、踏切の改良をし安全対策を図ることが先決と思う。

市では、内田交差点付近から福生橋までの約一キロメートルの事業化を都に要望している

利用者の責任で管理をお願いしているが、一部の地域では守られていないところもあるので、必要に応じて地域の方と相談し、一層モラルの向上や解決に努めていきたい。

が、計画では立体交差となっておりその前提とした作業を進め

ているので、踏切の改良は難しいとのことであるが、安全対策上から都に要求していきたい。

建設部長 都の計画では、当面は片倉工業入口の交差点から内田交差点前までを本年度から六十四年度にかけて整備するということである。

踏切部分は立体交差となっているが、再度都に要望し必要なら国鉄側にも折衝していきたい。



交通量の多い熊川駅西側の踏切

25日	20日	19日	17日	11日	10日	9日	6日	5日	4日	2日	9月	29日	28日	26日	22日	21日	19日	
来都歓迎会	東京都市収益事業組合 議会監査	建設促進協議会(第三日 目)、横田基地対策特 別委員会	第三回定例会(第三日 目)	厚生委員会	総務委員会	建設委員会	第三回定例会(第二日 目)、全員協議会	第三回定例会(第一日 目)、議会運営委員会	沖縄県嘉手納町議会視 察来市	全国市議会議長会基地 協議会関東部会役員会	9月	協議会運営委員会	全国市議会議長会基地 協議会実行運動	全国市議会議長会基地 協議会実行運動	福生市農地課税審議会 三多摩上下水及び道路 建設促進協議会第二委 員会実行運動	建設促進協議会第一委 員会、東京都特別区・ 市・町村議会友好代表 団訪中結団式	西多摩農業共済事務組 合多摩	三多摩上下水及び道路 建設促進協議会第三委 員会

### 分断されている南田園

#### 隧道等の考えは

質問 南田園地区も日々過密化の度合いが高めつつあるが、各地区を結ぶ道路網は、五日市線の盛り土で分断されている現況である。

この際下の川改修と並行して五日市線盛り土と五日市街道に隧道を設け、地域住民の便益に供する考えはあるか。

また、南田園地区から熊川駅に通ずる富士見橋は階段となっているが、これをスロープ式にする考えはあるか。

市長 下の川改修計画も調査が進んでいるが、五日市線も地域間交流の面で障害となっており、緊急時の避難道路としても必要と思うので検討したい。

富士見橋も建設後十二年たつたが、地形が急斜面で安全管理上問題があつて階段式にしたが下の川側道整備と合わせ検討したい。

建設部長 下の川の側道は、五日市線の南側が幅員五・五メートル、北側は四メートルで整備されているが、五日市線の盛り土は高さ十一メートル、幅四メートルあり、側道を抜くと富士見公園の一部をつぶすとか

幅や高さもあるという難点もある。

五日市街道は盛り土が高さ五メートル、幅二十メートルで、南側の道路が幅員四メートルで北側は袋小路となっている。

五日市街道には下水道管等の占有物件が埋設されているので若干問題があると思う。

今後下の川の断面改修と合わせ、緑道とか遊歩道として整備し、側道は市道として隧道を含めて整備し、五日市街道の部分も車道を区別した形で整備したい。

### 熊川地区の区画整理

#### 昭島市との協議を

質問 熊川地区の区画整理も説明の段階にきたが、昭島市でも拝島駅周辺の開発が計画されており、当市の住民も利用者が多く、境界も接しているのでは、昭島市とも十分協議して進めるべきだと思ふがどうか。

また、この区画整理に対する信念を伺いたい。

市長 基本的には、基本計画により未整備地区の面的整備を

推進すべきが至当であり、実施すべきだと考える。

都市計画道路も決定後二十年以上たち、昨今の交通事情から考え、拡幅整備は急務である。

先般の調査に対する説明会も大変熱心な対話ができ、その反応や調査結果を踏まえ、関係者の御理解をいただいて事業化に向けて全力をあげていきたい。

また、現段階では昭島市側とは協議していないが、今後の意識調査や手法等が決まった段階で協議し、整合性を図っていきたい。

建設部長 地元説明会を六日間実施したが、権利者三百二十四名中、百五十九名四九％が出席、非常に活発な意見等が出された。

当日出席できなかつた方もいるので再度十月に説明会を開き、全体の意思確認をし、その後一歩進めた意識調査をした。



### 第3回定例会で

次の方々が選任されました

#### 教育委員に大野達夫氏を選任

昭和48年10月より3期務められた来住野元一氏にかわり新たに、大野達夫氏(福生1028)を委員に任命しようと、市長より同意案が提出され、全員異議なく決まりました。

大野氏は、西多摩郡小学校PTA連合会会長等の経験もあり、現在も東京都体育指導委員協議会副会長など、広範囲にわたり活躍されておられます。

#### 固定資産評価審査委員に

#### 森田秀雄氏と持田 力氏を選任

評価審査委員の経験豊かな森田秀雄氏(熊川751)と、また、昭和54年9月より2期務められた杉本皆雄氏にかわり、国税局に勤務した経験をお持ちの持田 力氏(福生563)を委員に任命しようと、市長より同意案が提出され、全員異議なく決まりました。

持田氏は、税関係の経験も豊かであり、今後の活躍が期待されます。

## 人事

### 私道の減免

#### その対応は

質問 私道の減免措置については、市条例で申請すれば減免できることになっているが、その規定で減免されている人と、申請しない人との差が生じるが、どのように対応する考えか。

市長 固定資産税は、課税、非課税、減免と区分され、私道については公道に接続しているとか、不特定多数の利用に供して

いる等の実態により、一定基準を定めて減免扱いをしている。

企画財政部長 減免基準としては、一般的な利用に関して何らの制約のない私道で分筆されているもの、公共性があり付近住民に利用されている私道で分筆されているもの、道路分として分筆されていないが、実測図があつて現に道路として利用されているもの等が減免基準となっている。

申請主義であるが、税に不公平が生じないよう納税者にも指導し、わかりやすい形で市民にPRしていきたい。

### 交差点のカラー舗装

#### 今後の計画は

**質問** 交差点での事故防止対策の一環として、カラー舗装をした所を見かけるが、大変結構なことであるので今後の計画について聞きたい。

**市長** 交通安全対策に力を入れているが、道路面を美しく少しでも事故をなくしていきたい。カラー舗装は経費もかかるが、交通量や事故発生状況等を基準にし、警察署とも相談して取り組んでいきたい。

**建設部長** 現在銀座通りの牛浜地区に一カ所設けており、利用者からも効果的だとの声も聞いている。

経費も二百万円程度かかったが今後は、信号機のない交差点を中心に整備していきたい。

### 加美平団地付近の道路

#### 早急に整備対策を

**質問** 加美平団地と羽村町境の歩道は、五十四年に公社より市に寄付され、市で整備してき

たが、加美平保育園から二中わきまでの約百メートルは未整備であり、今後の対策はどうなっているか。また、団地の中央部の信号機付近は、産業道路方面からの雨水が流れ込み、側溝も飲み切れない状態であり、早急に対策を講ずるべきと思うがどうか。

**市長** 五十四年に羽村町と行

政界の変更があり、車道の部分は羽村町、歩道は公社より寄付されたものである。

維持管理上の問題もあるので早急に羽村町と協議したい。

雨水対策については、住宅建設当時路面排水措置として整備されたが、この道路には排水管が埋設されているので、早急に改善したい。

となるものであり、是非市民の御理解と御協力を得たいと思ふ。

プライバシー保護のため国や

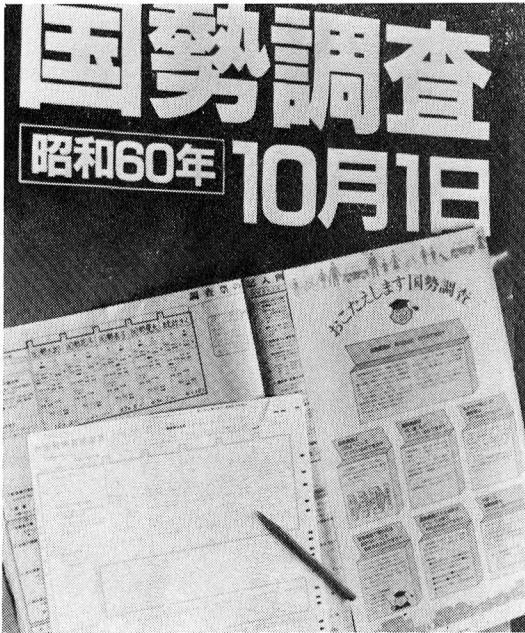
## 国勢調査

### プライバシーの保護は

**質問** 五年に一回の国勢調査が今年行われるが、前回はプライバシー保護のために密封の形で行ったが家族構成や職業等プライバシーに関係することも多く、今回どのような方法で実施するのか。

**市長** 都の監督指導により実施する予定で準備している。

この調査は統計法によって全国一斉に実施され、いろいろな施策の基礎資料



全国一斉に行われた国勢調査

とも強く指導しており、調査員への説明会でもその点強く申し上げている。

**市民部長** 前回と変わった点は、調査項目が五項目減って十七項目となったこと、調査期間が一週間短くなったこと、調査用紙の説明書を密封封筒として使用するようになったこと、また、調査員が共同で行けることになったこと等が変わった点である。

調査員は前回と同様に町会等から推せんしていただき、説明会でもプライバシー保護のための守秘義務について申し上げている。

### 災害発生時の

#### 飲料水の確保は

**質問** 災害時の飲料水は耐震性貯水槽等に十分確保してあるとのことだが、飲料水にするにはろ水器を使わなければならないので、常に流れている水道水を利用する方法が必要であり、しかも避難場所には飲料水は必要である。これらについて聞きたい。

**市長** 当市としては相当の日数分確保してあるが、常時水道水を流入している貯水槽は理想であるが、耐震性等を研究すべき点もある。

**市民部長** 飲料水としては、浄水場の受水槽に五千トン、湧水が一日八十四トンの二か所、水源の井戸が一日六百七十三トン、耐震性貯水槽四基に四百トン、各学校のプールに二千二百七トンが確保されており、市民が一日一人三リットル消費するとして受水槽と貯水槽で一か月は大丈夫である。

ろ水器の殺菌は、活性炭を使用し、国の検査でも安全性が確認されているが、細心の注意をしていきたい。

また、個人の深井戸は二十一カ所あり、飲料水に適しているのが九カ所となっているが、さらに検査をして確保したい。

### 難聴地域における

#### 防災無線の対策は

**質問** 災害時にいち早く正確な情報を伝え、避難・誘導等情報手段として防災無線は市民にとって唯一の情報源である。今後難聴地域等の対策について聞きたい。

**市長** 市街化に伴う構造物や受信塔が少ないことも難聴の原因ではないかと思う。

こうした問題解決のため防衛補助事業として、六十一年度に要求しており、早期実現を図っていききたい。

### 災害時の資材確保のため

#### 防災倉庫の設置を

**質問** 東京都防災会議の研究報告が発表され、住民防災組織が防災のまちづくりの重要課題とも提言している。

幸い当市では全町会に自主防災組織ができたが、現実に対応できる資材等も必要であり、地域防災センターともなる防災倉庫の必要性が再三いわれてきた。

自主防災組織をより充実し、

**市民部長** 今後は防災行政無線として充実し、送信施設としての親局を市庁舎に、また受信施設として、子局を現在二十カ所あるものを三十一カ所に増設する計画であり、さらに緊急時の連絡用として親局と七台の移動局を予定している。

そのほか、エコー防止や自動音量調節ができる装置を考えている。

管理体制としてはいづれ総務部管財課から市民部環境防災課で管理する考えである。

現在使用している周波数は近隣市町と同じであるため、放送時間帯も限られているが、親局ができれば解決すると思う。

大きく育てるためにも早急に対応すべきだと思いが考えを聞きたい。

**市長** 自主防災組織の体制も整い、現在地域防災組織の見直しをしている段階である。

災害対策用備蓄庫として市内に六カ所設置したが、さらに必要最少限度の資材を収納できる倉庫を各地区に設置するよう検討している。

建物の規模、用地の確保等問題があるが地域防災計画と合わせて取り組んでいきたい。

**市民部長** 収納物としては、小型発電機、ラジオ、トランシ

バー、可搬式ポンプ、担架、毛布、薬品、乾パン、スコップ等を用意したい。

### 指紋押捺問題

#### 登録閲覧の対応は

**質問** 前回も質問したが、都や各市町村での指紋押捺拒否者に対する対応に変化が出ているが、当市ではどのような形で進行しているのか。

また警察の調査も法的には署長公印の文書請求以外応じてはいけないことになっているが、そうした登録閲覧等についてどう対応しているのか。

**市長** 現在のところ対象者の四六が完了、特に混乱もなく円滑に行われており、今後も御協力をいただくよう努めていきたい。

**市民部長** 八月三十日現在百四十名が済んでおり、今後百六十二名が予定される。

押捺拒否者が二名いたが、一名の方には協力をいただき、一名の方には保留の指定書を交付している。

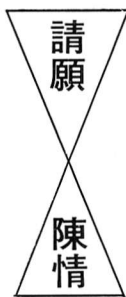
警察の関係は、捜査関係事項照会書により閲覧することになっている。

## 第三回臨時会

八月七日

第三回臨時会が去る八月七日開催されました。

この臨時会では、一般会計の補正予算(第二号)一件が提案され、武蔵野台地区にある福生第三市営住宅の建築工事に関係するもので、当初計画では一棟であったものを二棟に変更したことによる約七千六百万円の補正、また、最近健康に対する意識が向上し、受診者が大幅に増加したための健康診査委託料も一千万円ほど増額され、予算総額百十三億四千二百八十万円となっています。



### 継 続

- 陳情第五十九―四号 横田商栄会駐車場設置に関する陳情書 福生二二七二 北村 安忠氏 | 昭59・9・7提出
- 陳情第六十一―号 「外国人登録法」改正に関する陳情書

志茂一四一 金 隆吉氏

○請願第六十一―一号 | 昭59・5・20提出

すべての合成洗剤をなくし安全な石けんの普及に関する請願書 青梅市新町一九六八 佐々木 つぎ代氏 他百四十八人 | 昭60・6・4提出

○請願第六十一―二号 失業対策事業に関する請願書 熊川八三〇 西村 秀吉氏 | 昭60・8・28提出

○請願第六十一―三号 「非核・平和福生市宣言」制定に関する請願書 北田園二―二四―一〇 長田 紀彌子氏 他千一百一人 | 昭60・8・28提出

○請願第六十一―四号 「福生市に非核都市宣言を求め」請願書 北田園一―十一―四 山辺 恒久氏 他千九百四十五人 | 昭60・9・10提出

○陳情第六十一―二号 無認可保育室の助成に関する陳情書 田無市本町四―十一―九 後山 和子氏 | 昭60・9・10提出

○陳情第六十一―号 「外国人登録法」改正に関する陳情書